

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピー千葉教室		
○保護者評価実施期間	2025年7月25日		2025年8月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 42
○従業者評価実施期間	2025年7月25日		2025年7月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年8月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様や保護者様と同じ目標に向かって支援ができています。	朝終礼で支援内容やお子様の様子について、共有する時間を設け、日々職員間で確認をしている。支援内容やお子様の対応について検討が必要な場合は、ケース会議を実施している。保護者様からいただいた意見について、記録や朝終礼で共有し、スムーズに意思疎通ができるようにしている。	お子様の様子やフィードバックでお話した内容について、今後も継続して職員間で情報共有していく。 また、お困りごとやお悩みについても、積極的に保護者様へ聞き取りを行い、不安を減らしていけるようにしていく。
2	お子様のニーズや季節感に合わせたイベントが実施できている。	スモールステップで「できた」を感じられるように課題を提示し、たくさん褒めることでお子様の自信に繋げている。壁面は、2か月に1回のペースで担当とテーマを決めて季節を楽しめるように工夫している。お子様だけでなく、ごきょうだいや保護者様にも楽しんでいただけるようなイベントも随時開催している。	引き続き、お子様や保護者様に楽しんでいただける企画を考えていく。 特に新学期や休み明けは、お子様の気持ちが崩れやすいため、ハッピーで安心して楽しく過ごすことで、気持ちの安定を図れるような支援を行う。
3	楽しく安心して通所できるように支援内容を工夫している。	支援プログラムはお子様の好きな活動に加えて、苦手な活動も取り入れ、お子様自身が楽しく取り組めるように工夫している。また、肯定的に伝えるように心掛けている。 部屋が空いている場合はクールダウンができるようにしている。様々な指導員が支援に入るため、おたよりで指導員の紹介を行っている。	お子様、保護者様の不安な気持ちに寄り添いながら、支援を行っていく。 痙攣など、不安定な気持ちが現れた際は、気持ちに寄り添いクールダウンを行う。安全に配慮しつつ、気持ちのコントロールの練習に取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様やお子様のニーズに合わせて、臨機応変な枠の設定や家族支援などがもう少しできるといい。	・ご自宅ではあまり体験できない内容のイベントを考え、毎月実施しているが、利用者様によってイベントを望む方と通常の個別支援を望む方に分かれているように感じる。 ・曜日時間帯によって利用希望の集中と空きが生まれている。	・イベントの目的やメリットを丁寧に説明し、ご案内していく。また個別希望の場合はご要望に合わせて臨機応変な対応を行う。 ・固定枠アンケート実施時や固定枠の決定時に土日や平日の夕方の人気枠については、集団になる可能性が高いことをより明確にお伝えしていく。
2	外部と交流できる機会を設け、周知していけるといい。	・外部での理学療法士の講習や、外部でのイベント等(まなびフェスタでの展示や体験教室・心のふれあいフェスティバルへの展示参加)を実施しているが、保護者様に周知しきれていない。	・ブログでの活動報告をこまめに行っていく。教室内では事前の掲示などでお知らせを継続していく。 ・パンフレットの配布を継続して行い、周知していく。 ・今後、地域のお子様を教室へ招待する企画を検討していく。
3	お子様と一緒に避難訓練ができる機会を増やし、保護者様への周知もできるといい。	・日程が限られるため、日程が合わない方の参加が難しくなっている。 ・重要事項説明書に年2回の訓練の記載があり契約時に説明を行っているが認識されにくい。	・多くの利用者様が参加できるような避難訓練に参加できるように日程を組んでいく。 ・お子様や保護者様が実生活に活かせるように内容を工夫していく。 ・訓練時の写真展示、ブログなどに訓練の報告・避難場所の案内を載せて情報の公開していく。